

# 兵庫県下の経済動向

平成22年11月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

## 目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは幾分鈍化している。

輸出はアジア向けを中心に増加しているが、その伸びはやや鈍化している。生産も、一頃に比べると増加ペースは鈍化している。設備投資は、下げ止まっている。個人消費は、持ち直しの動きがみられる中で、乗用車販売ではエコカー補助金終了に伴う反動減がみられている。また、住宅投資は持ち直し基調にある一方、公共投資は増勢が一服している。この間、雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善の動きがみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が婦人服以外の衣料品は前年比プラスとなったものの、3か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車とも減少したことから、2か月連続で前年を下回った。家電販売は、薄型テレビを中心に、エコポイント制度見直しに伴う駆け込み需要がみられることなどから、全体としても増勢が強まっている。

設備投資は、製造業は僅かながら減少する計画となっているものの、非製造業が増加計画となっていることから、小幅ながら増加に転じる計画となっている。

住宅投資は、持家、分譲、貸家とも増加し、全体では3か月連続で前年を上回った。

公共工事は、独立行政法人等や神戸市を除く市町などが減少したことから、2か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出が米国、アジア、EU向けが増加し、9か月連続で前年を上回った。また、輸入についても8か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、化学工業、電気機械工業、情報通信機械工業などの低下により2か月ぶりに低下した。

雇用関係では、有効求人倍率が前月を上回ったほか、新規求人数も前年を上回った。

また、所定外労働時間および一人当たり名目賃金は前年を上回ったものの、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数が前月および前年を上回ったものの、負債総額は前月および前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向。

8月の兵庫DIは、先行指数57.1%、一致指数66.7%、遅行指数75.0%となった。

8月の兵庫CIは、先行指数94.4、一致指数94.4、遅行指数97.2となった。

兵庫DIは、先行指数が4か月ぶり、一致指数が15か月連続、遅行指数が2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月連続、一致指数が3か月ぶり、遅行指数は4か月連続で前月差増となった。

県統計課は「エコカー補助金の申請終了で新車需要が反動減となるなど、先行きについて足踏みの兆候がでてきた」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

9月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は95.7、前月比2.2%低下。出荷指数は92.9、同3.7%低下。在庫指数は107.0、同3.4%上昇。在庫率は120.2、同1.3%上昇。生産指数は2か月ぶりに低下、出荷指数は3か月ぶりに低下した。また在庫指数は4か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が13.9%増で10か月連続で上昇し、出荷も8.2%増で10か月連続で上昇した。また在庫は6.1%増で2か月連続で上昇した。

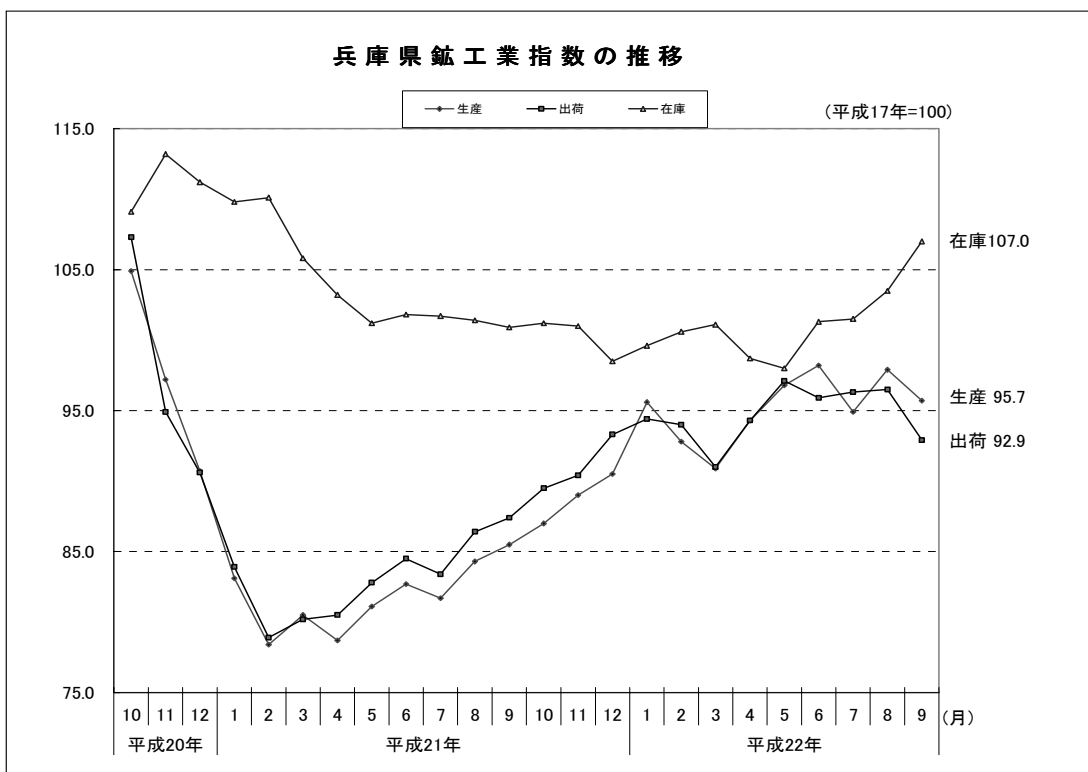
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、鋼半製品等の「鉄鋼」が10.7%、旅客車等の「輸送機械」が7.1%、砂糖等の「食料品」が4.1%各々上昇したものの、塩化ビニル等の「化学」が9.9%、電力変換装置等の「電気機械」が9.6%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が7.8%、蒸気タービン部品等の「一般機械」が5.4%各々低下した。

県統計課は、「兵庫県の生産活動は、横ばい傾向であるが一部の業種では弱含んでいる」としている。

9月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分			原 指 数	
	季節調整済指数	対前月比増減(%)		対前年同月比増減(%)
生 産	95.7	2.2	100.7	13.9
出 荷	92.9	3.7	100.8	8.2
在 庫	107.0	3.4	104.4	6.1
在 庫 率	120.2	1.3	111.1	10.0

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



### 9月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業種	指数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼	90.7	10.7	上昇	鋼半製品、粗鋼、銑鉄、普通鋼鋼帯
			低下	亜鉛めっき鋼板、鋳鉄管、普通鋼鋼管、大中小形鋼
金属製品	96.2	2.3	上昇	ガス温風暖房機、超硬チップ、鋼管製管継手、石油温水給湯暖房機
			低下	ガス湯沸器、橋りょう、ガス風呂がま、PC鋼より線
一般機械	95.4	5.4	上昇	蒸気タービン部品、ショベル系掘削機械、反応用機器、熱交換機
			低下	一般用蒸気タービン、ボイラ部品、プレイバックロボット、建設用クレーン
電気機械	112.9	9.6	上昇	電力変換装置、超音波応用装置、保護継電器、太陽電池モジュール
			低下	非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、一般用タービン発電機、リチウムイオン蓄電池、高圧遮断器
情報通信機械	92.3	7.8	上昇	パーソナルコンピュータ、レーダ装置、基地局通信装置、カーナビゲーション
			低下	テレメータ・テレコントロール、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、カーオーディオ、搬送装置
電子部品デバイス	170.3	2.7	上昇	PDPモジュール、IGBT、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、モス型半導体集積回路(ロジック)
			低下	電界効果型トランジスタ、レーザダイオード、シリコンダイオード、シリコントランジスタ(1W未満)
輸送機械	78.9	7.1	上昇	旅客車、船用蒸気タービン、二輪自動車(125ml超)、機関部品
			低下	船用ディーゼル機関、鋼船、ショベルトラック
化学	91.7	9.9	上昇	塩化ビニル(モノマー)、酸素、二塩化エチレン、自動車排気ガス浄化用触媒
			低下	医薬品、化粧品、塩化ビニル樹脂、アクリル酸エステル
食料品	102.2	4.1	上昇	砂糖、ビール類、清酒、しょうゆ
			低下	めん類、即席めん、チーズ、米菓

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた10月の県内百貨店売上高は176億10百万円、前年同月比1.2%の減少で、3か月連続で前年を下回った。ただ、婦人服以外の衣料品は前年比プラス。気温が急低下し、冬服などを求める人が増えたことで来店客数や客単価が増勢に転じる店舗が目立った。

神戸地区は1.2%減だが、衣料品は全5店舗のうち3店舗でプラスとなった。そごう西神店は合計が6.1%増で、前年を上回ったのは今年3月以来7か月ぶり。同店は「気温低下という追い風に加え、開業20周年を記念した集客イベントが功奏した」としている。品目別で見ると、大丸神戸店は紳士服が18%増、そごう神戸店でも婦人服、子供服が前年比プラスだった。

姫路・加古川地区は1.1%減で、マイナス幅は2か月ぶりに縮小。山陽百貨店が衣料品や食料品ともに前年プラスで、合計1.5%増。今年8月に続き2か月ぶりに前年を上回った。ヤマトヤシキは衣料品が苦戦したものの、物産展などが好調だった。

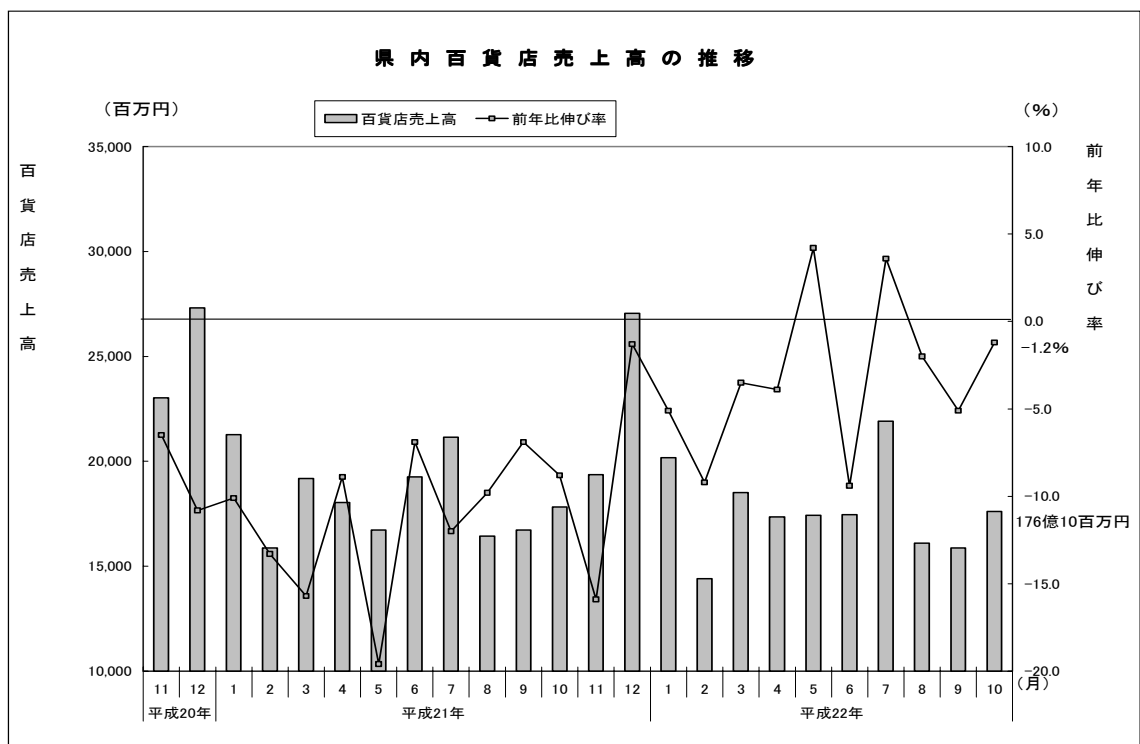
10月の県内百貨店売上高

品目	地区		
	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	940( 11.6)	222( 0.9)	1,163( 9.0)
婦人服・洋品	4,545( 2.2)	761( 2.9)	5,307( 2.3)
子供服・洋品	531( 3.9)	103( 2.1)	635( 3.6)
身の回り品	1,610( 3.1)	290( 15.1)	1,900( 0.7)
家庭用品	617( 1.7)	159( 12.9)	776( 4.2)
食料品	3,794( 1.6)	828( 0.2)	4,622( 1.4)
雑貨	1,784( 3.0)	422( 0.7)	2,206( 2.6)
その他	703( 1.9)	294( 6.9)	997( 3.4)
計	14,528( 1.2)	3,082( 1.1)	17,610( 1.2)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内10月の乗用車新車登録台数は9,670台、前年同月比29.8%減と2か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

10月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は3,778台(前年同月比18.4%減)、小型乗用車は3,243台(同41.7%減)、軽乗用車は2,649台(同26.0%減)、乗用車合計で9,670台(同29.8%減)となった。

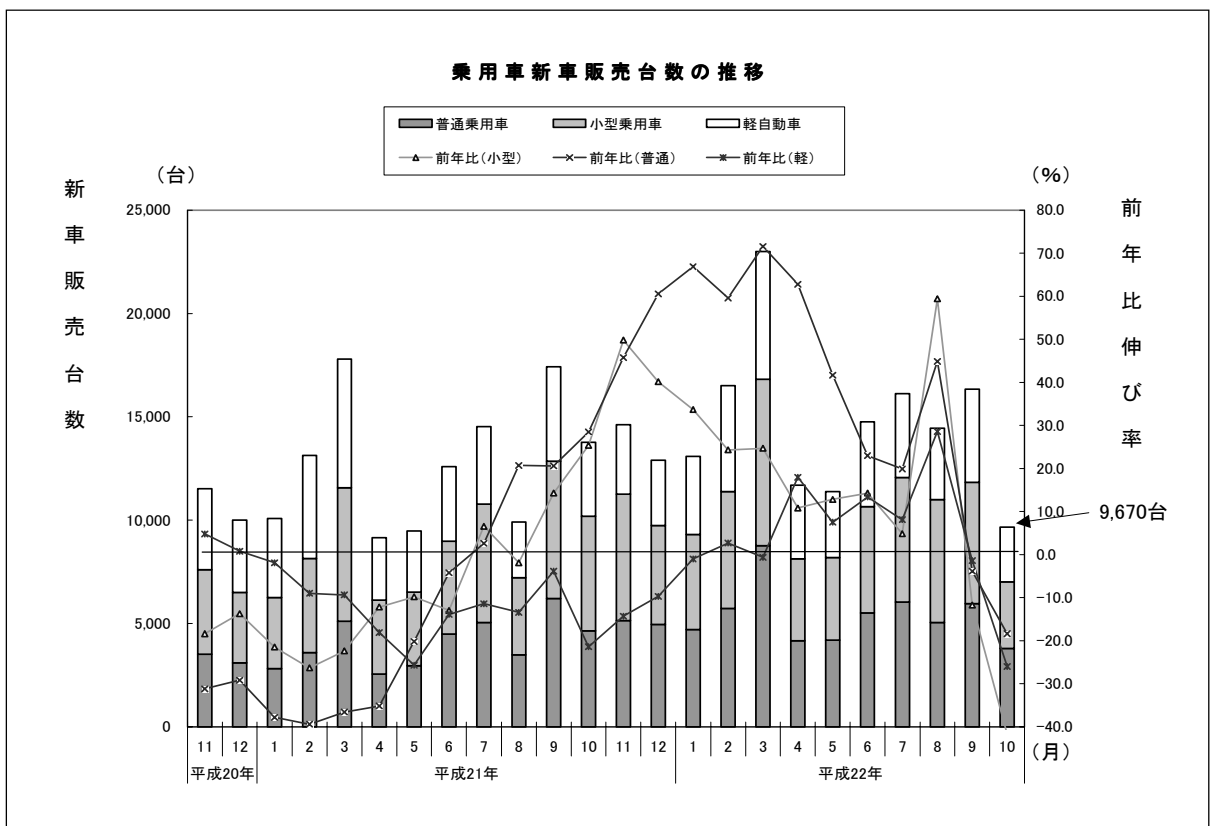
また貨物車等では、普通貨物車は186台(前年同月比42.0%増)、小型貨物車は459台(同7.8%減)、軽貨物車は1,135台(同5.9%減)、バスは17台(同34.6%減)となった。

### 10月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,778	18.4	85,551	21.0
小型乗用車	3,243	41.7	86,090	35.1
軽乗用車	2,649	26.0	79,851	19.0
<b>乗用車合計</b>	<b>9,670</b>	<b>29.8</b>	<b>251,492</b>	<b>25.9</b>
普通貨物車	186	42.0	6,668	6.2
小型貨物車	459	7.8	14,300	1.8
軽貨物車	1,135	5.9	31,216	8.0
<b>貨物車合計</b>	<b>1,780</b>	<b>3.0</b>	<b>52,184</b>	<b>6.2</b>
バス	17	34.6	649	25.4
<b>登録車総計</b>	<b>11,467</b>	<b>26.7</b>	<b>304,325</b>	<b>23.2</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が11月11日に発表した機械受注統計によると、平成22年9月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、22年8月前月比9.8%増の後、9月は同9.2%減の2兆33億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、8月前月比10.1%増の後、9月は同10.3%減の7,565億円となった。

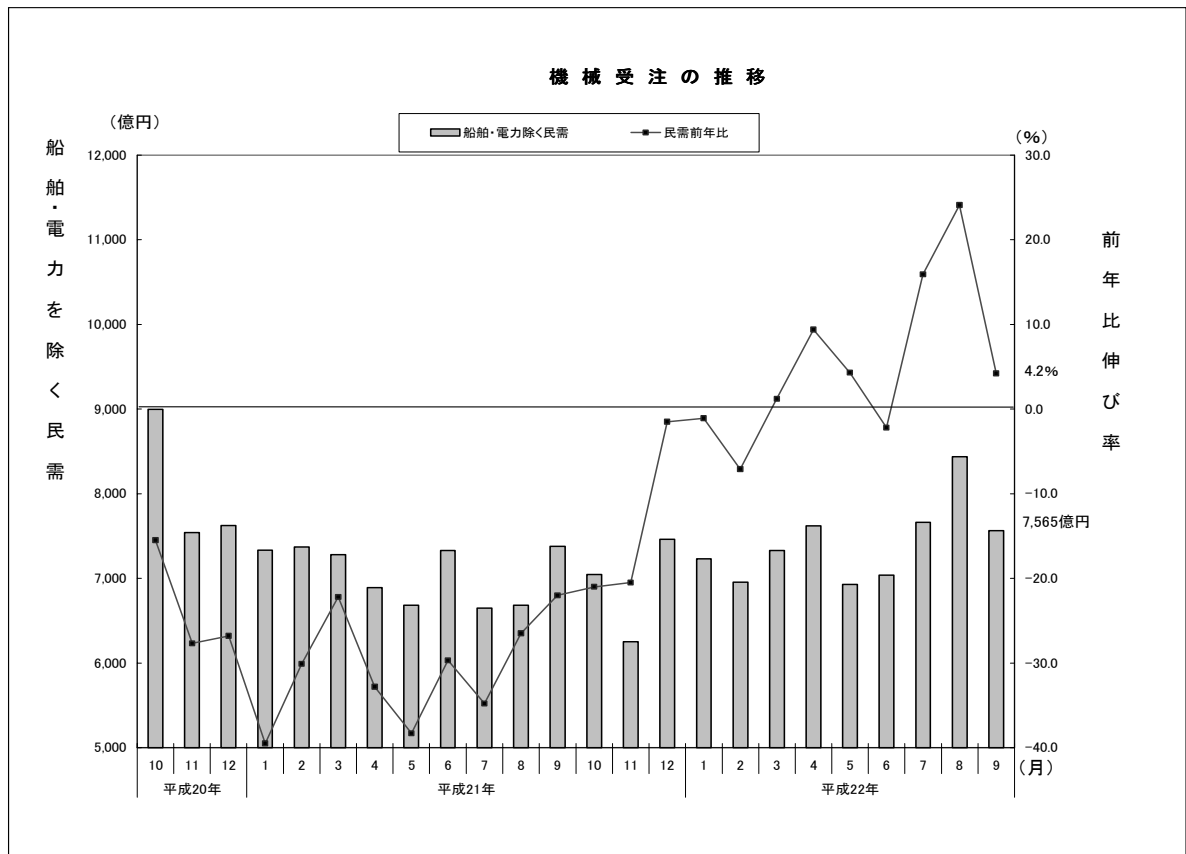
内訳をみると、製造業が同20.7%減の2,766億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同3.0%増の5,058億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、パルプ・紙・紙加工品(42.4%増)、食品製造業(12.1%増)、金属製品(6.8%増)等の5業種で、石油製品・石炭製品(72.3%減)、非鉄金属(66.4%減)、鉄鋼業(43.2%減)、電気機械(30.6%減)、造船業(30.5%減)、精密機械(24.0%減)、繊維・衣服製造業(20.0%減)等の12業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、リース業(68.3%増)、建設業(42.4%増)、通信業(28.1%増)等の5業種で、電力業(61.3%減)、鉱業(61.2%減)、不動産業(56.2%減)、運輸業(24.9%減)等の7業種は減少となった。

兵庫県下においては、2010年度設備投資額は、製造業は僅かながらも減少を見込んでいるものの、非製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果。2010年9月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+1.4%(製造業 0.3%、非製造業+7.0%)





機械受注統計（平成22年9月分）

	21年 7~9月 実績	10~12月 実績	22年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	22年 6月 実績	7月 実績	8月 実績	9月 実績
受注総額	49,456 ( 9.0) [-30.2]	53,425 ( 8.0) [-5.8]	58,247 ( 9.0) [ 17.4]	55,988 ( -3.9) [ 23.7]	62,207 ( 11.1) [ 24.8]	19,027 ( 9.2) [ 24.2]	20,104 ( 5.7) [ 23.4]	22,070 ( 9.8) [ 38.4]	20,033 ( -9.2) [ 16.6]
民需	24,937 ( -2.4) [-23.2]	25,095 ( 0.6) [-10.1]	25,854 ( 3.0) [ 0.2]	24,955 ( -3.5) [-2.0]	29,212 ( 17.1) [ 15.3]	8,423 ( 10.5) [ 2.6]	9,070 ( 7.7) [ 15.9]	11,304 ( 24.6) [ 32.2]	8,838 ( -21.8) [ 4.4]
（Ex 船・電）	20,671 ( -0.7) [-27.3]	20,904 ( 1.1) [-14.0]	21,514 ( 2.9) [-1.8]	21,589 ( 0.3) [ 3.3]	23,662 ( 9.6) [ 13.0]	7,040 ( 1.6) [-2.2]	7,663 ( 8.8) [ 15.9]	8,435 ( 10.1) [ 24.1]	7,565 ( -10.3) [ 4.2]
製造業	6,844 ( -6.6) [-46.1]	7,994 ( 16.8) [-17.3]	9,129 ( 14.2) [ 29.2]	8,342 ( -8.6) [ 13.2]	9,357 ( 12.2) [ 34.3]	2,816 ( 9.9) [ 6.9]	3,101 ( 10.1) [ 39.8]	3,490 ( 12.5) [ 50.8]	2,766 ( -20.7) [ 19.6]
非製造業 (Ex 船・電)	14,063 ( 4.5) [-11.8]	12,956 ( -7.9) [-10.8]	12,471 ( -3.7) [-15.0]	13,192 ( 5.8) [-2.4]	14,499 ( 9.9) [ 2.3]	4,192 ( -3.9) [-7.7]	4,532 ( 8.1) [ 3.5]	4,909 ( 8.3) [ 10.1]	5,058 ( 3.0) [-3.3]
官公需	8,048 ( 9.5) [ 20.5]	6,683 ( -17.0) [-0.8]	6,861 ( 2.7) [-1.9]	6,845 ( -0.2) [-4.8]	7,146 ( 4.4) [-10.1]	2,383 ( 26.3) [-1.6]	2,351 ( -1.3) [-19.2]	2,589 ( 10.1) [-4.5]	2,207 ( -14.7) [-8.3]
外需	15,502 ( 33.5) [-46.8]	19,635 ( 26.7) [-0.9]	22,275 ( 13.4) [ 72.2]	22,806 ( 2.4) [ 94.2]	23,919 ( 4.9) [ 54.1]	7,792 ( 2.4) [ 74.7]	7,995 ( 2.6) [ 50.2]	7,697 ( -3.7) [ 68.9]	8,227 ( 6.9) [ 47.5]
代理店	2,004 ( 10.3) [-32.4]	2,183 ( 9.0) [-13.0]	2,356 ( 7.9) [ 12.6]	2,408 ( 2.2) [ 32.4]	2,457 ( 2.0) [ 22.1]	796 ( 9.5) [ 28.7]	781 ( -1.8) [ 21.0]	912 ( 16.8) [ 35.8]	763 ( -16.4) [ 11.3]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内9月の新設住宅着工戸数は、総数で2,836戸(前年同月比13.3%増)となり、持家、分譲住宅、貸家とも増加し、全体では3か月連続で前年を上回った。尚、前月比では271戸の減少となった。

### 9月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	968	12.8	27,670	12.9
・分譲住宅	810	4.8	20,067	58.9
貸家系・貸家	1,050	56.5	23,696	2.2
・給与住宅	8	96.0	565	35.4
<b>総数</b>	<b>2,836</b>	<b>13.3</b>	<b>71,998</b>	<b>17.7</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

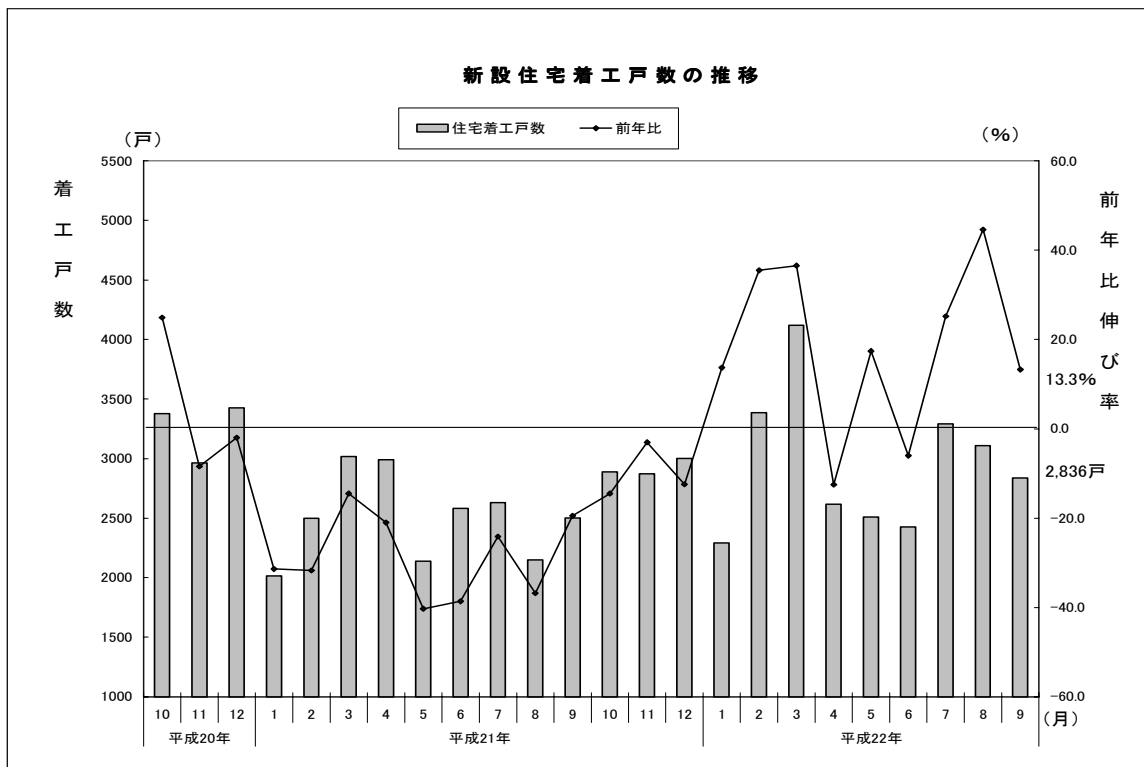
### 9月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	595	822	353	420	80	290	162	37	21	56	2,836
前月比	-305	+345	+3	-313	-35	-9	+58	-20	-1	+6	-271

資料：兵庫県住宅計画課

平成22年4月～9月の新設住宅着工累計は、総数で16,791戸、前年同期比1,797戸の増加となった。利用関係別では「持家」が5,619戸(前年同期比6.5%増)、「分譲住宅」が4,889戸(同20.2%増)、「貸家」が6,012戸(同19.0%増)、「給与住宅」が271戸(同54.5%減)となった。



## 【公共工事】

10月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は640件で前年同月比12.6%の減少、請負金額は256億54百万円で同20.3%の減少となり、金額ベースで2か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」が前年同月比5.7%の増加となったものの、「独立行政法人等」同49.9%、「神戸市を除く市町」同29.2%、「国」同22.7%、「その他の団体」同19.9%、「兵庫県」同15.0%の減少となり、前年同月を下回った。

地域別(金額ベース)では、阪神北(同42.0%増) 但馬(同25.5%増)で増加となったが、丹波(同46.3%減) 北播磨(同45.1%減) 阪神南(同37.2%減) 神戸市(同31.7%減)、西播磨(同17.4%減) 東播磨(同15.4%減)等では減少となった。

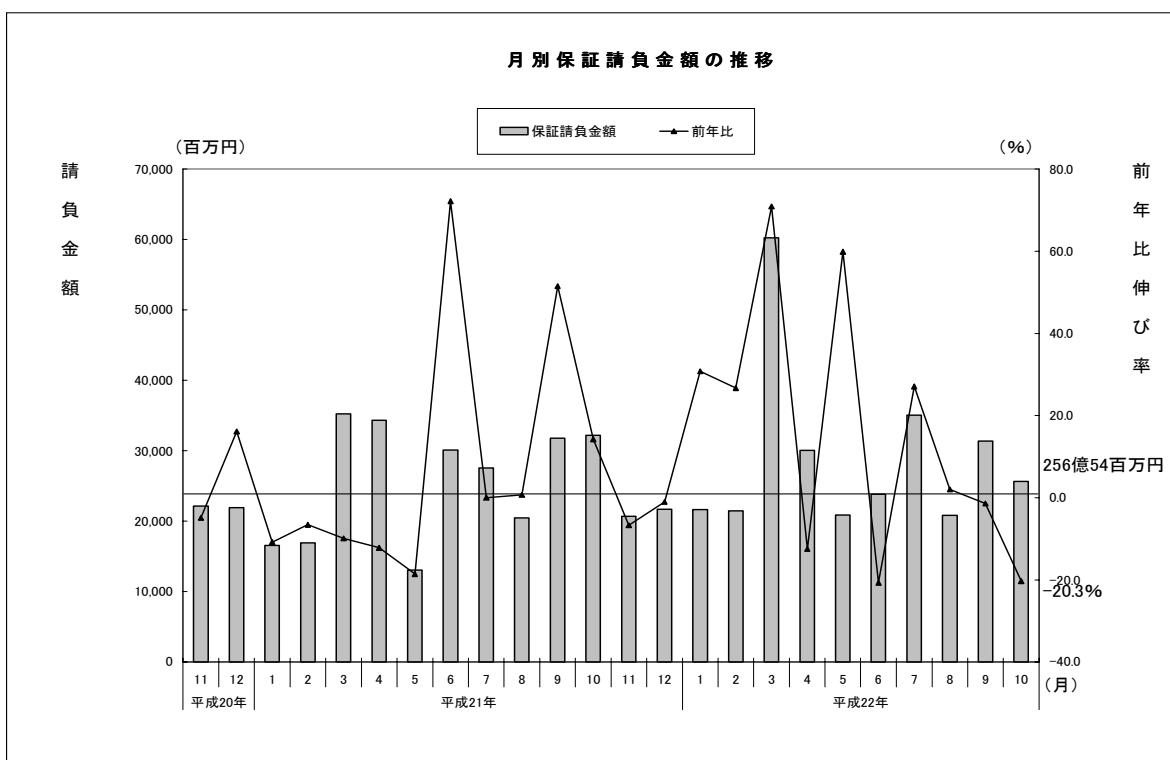
請負金額を平成22年度(22年4月～10)の累計でみると、1,876億31百万円となり、前年同期比0.9%の減少となった。

### 10月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	36( 23.4)	3,054( 22.7)	国道175号西脇バイパス西脇大橋上部工事 和田山八鹿道路畑川橋上部工事
独立行政法人等	20( 5.3)	1,048( 49.9)	
兵庫県	260( 4.1)	9,618( 15.0)	兵庫東流域下水汚泥広域処理場搬送機械設備工事、加古川小野線石守広見高架橋上部工事
神戸市	63( 19.2)	3,881( 5.7)	妙法寺川汚水幹線布設工事
神戸市を除く市町	241( 13.6)	6,731( 29.2)	
その他の団体	20( 47.4)	1,321( 19.9)	下水道事業団 福崎町福崎浄化センター水処理設備工事その3
合計	640( 12.6)	25,654( 20.3)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成22年9月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,429億円、前年同月比17.3%の増加で、総額ベース9か月連続の増加となった。輸出は、通信機などが減少したものの、建設用・鉱山用機械、船舶などが増加した。一方輸入は、衣類及び同付属品などが減少したものの、音響・映像機器、たばこなどが増加した。神戸税関は「リーマン・ショック前の2008年の8割に満たない」と指摘している。

輸出は4,433億円(前年同月比24.3%増加)と9か月連続で前年を上回った。

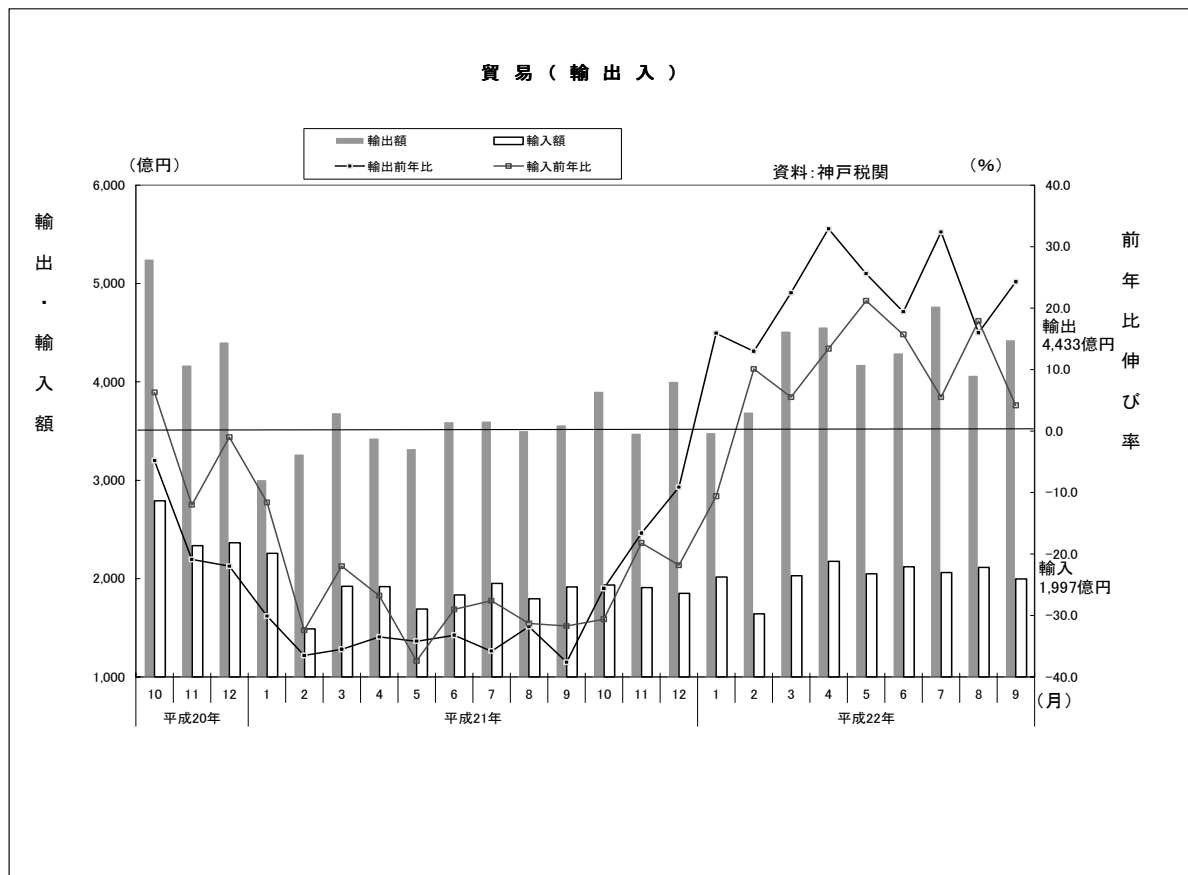
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(同3.0%増、3か月連続プラス)、原動機(同35.3%増、3か月連続プラス)、プラスチック(同11.7%増、11か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同2.1倍、9か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同24.6%増、10か月連続プラス)、中国(同14.8%増、10か月連続プラス)、米国(同37.9%増、9か月連続プラス)、EU(同10.9%増、3か月連続プラス)向けが増加となった。

輸入は1,997億円(前年同月比4.2%増加)と8か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(同33.1%減、3か月連続マイナス)が減少したものの、たばこ(同25.8%増、3か月連続プラス)、非鉄金属(同23.1%増、8か月連続プラス)、有機化合物(同14.3%増、8か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同4.0%増、8か月連続プラス)、米国(同24.0%増、7か月連続プラス)向けが増加したものの、中国(同3.1%減、2か月ぶりにマイナス)、EU(同9.7%減、2か月ぶりにマイナス)向けが減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

10月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.9(平成17年=100)となり、前月比は0.2%下落し、前年同月比は0.3%上昇した。生鮮食品を除く総合指数は98.8となり、前月比は0.4%下落し、前年同月比は0.8%下落した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.3となり、前月比は0.4%下落し、前年同月比は0.8%下落した。

前月からの動きを見ると、たばこなどの値上がりにより「諸雑費」が6.4%、野菜・海藻などの値上がりにより「食料」が0.1%上昇した。しかしながら、家賃などの値下がりにより「住居」が2.8%、教養娯楽サービスなどの値下がりにより「教養娯楽」が0.4%下落した結果、総合指数では0.2%下落した。

### 10月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品 を除く総 合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.9	104.4	96.3	103.4	88.2	99.5	97.8	98.7	98.0	95.4	106.4	98.8	97.3
前月比	-0.2	0.1	-2.8	-0.1	-0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	-0.4	6.4	-0.4	-0.4
前年同月比	0.3	2.0	-2.5	3.2	-4.2	-1.2	-0.9	0.3	-3.9	0.0	6.4	-0.8	-0.8

(注)平成17年=100

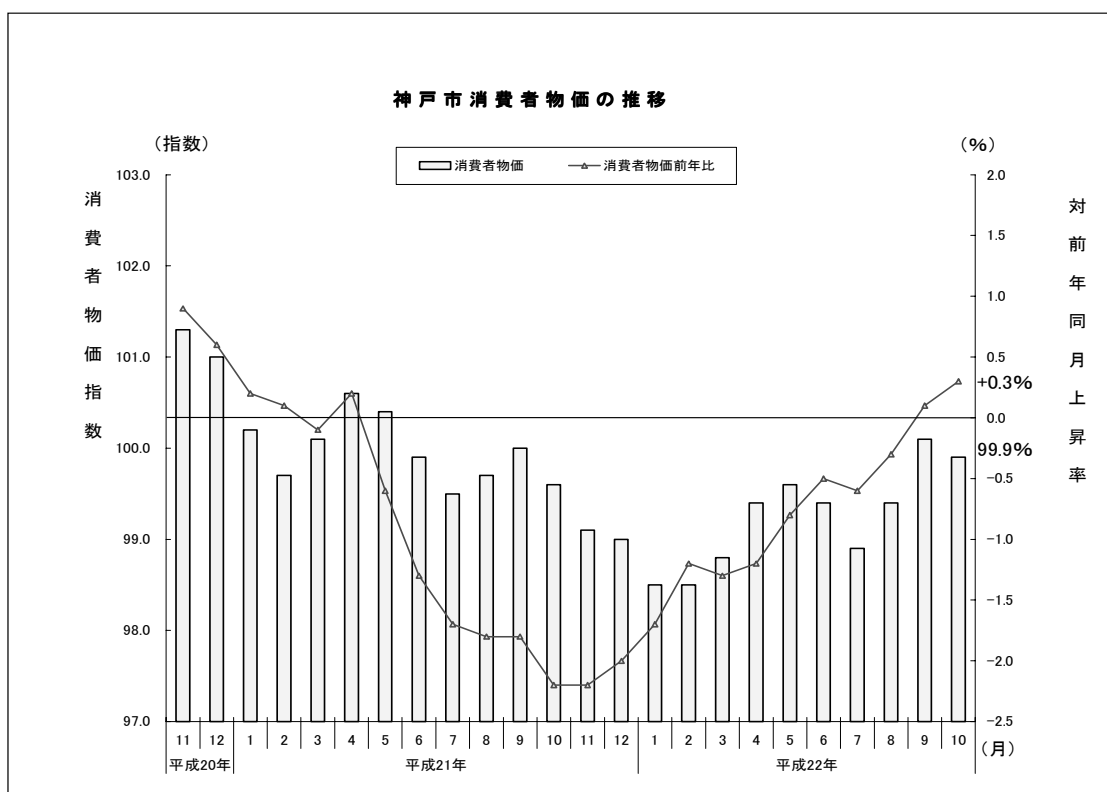
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

- たばこ ( + 38.6%)・・・たばこ(国産品、輸入品)
- 野菜・海藻 ( + 4.9%)・・・レタス、だいこん、たまねぎ

#### 対前月比値下がりした主な品目

- 家賃 ( 3.0%)・・・民営家賃(木造中住宅)
- 教養娯楽サービス ( 0.8%)・・・外国パック旅行



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が11月11日に発表した、企業物価指数(速報)による2010年10月の実績は次のとおり。

### 10月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	103.0	0.2	0.9
輸 出 物 価	83.4	0.6	4.6
輸 入 物 価	102.0	1.4	2.2

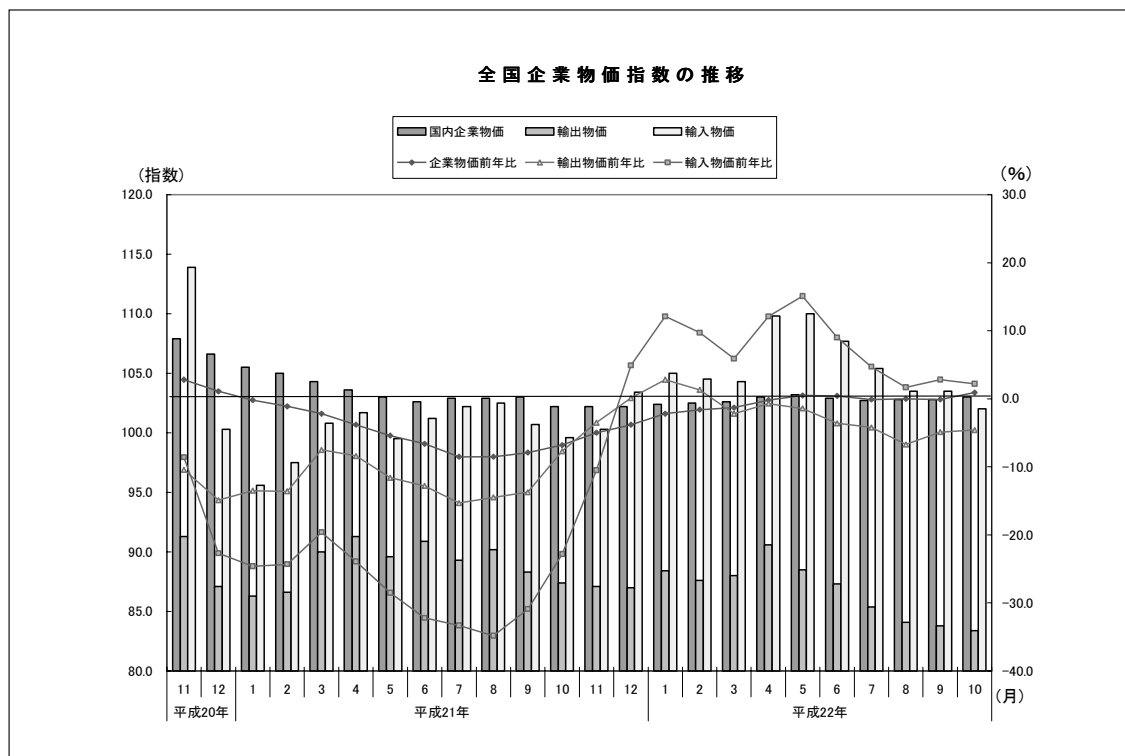
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、加工食品(前月比+3.3% <たばこなど>、非鉄金属(同+1.4% <銅地金、プラスチック被覆銅線など>)、石油・石炭製品(同+1.5% <灯油、ガソリンなど>)、鉄鋼(同+0.4% <機械構造用炭素鋼、鍛造品など>)等が上昇、スクラップ類(同-4.6% <鉄くずなど>)、電力・都市ガス・水道(同-4.4% <特別高圧電力、業務用高圧電力など>)、農林水産物(同-3.3% <豚肉、玄米、精米など>)等が下落し、全体では前月比0.2%の上昇となった。

前年同月比では、たばこ税の引き上げが響いたほか、原油や鉄などの資源価格上昇を関連製品に価格転嫁する動きも進んだため、08年12月以来、1年10カ月ぶりの高い伸び率となった。

輸出物価は、金属・同製品(前月比-0.6% <銅地金など>)、一般機械(同-0.3% <ころ軸受、冷凍機など>)等が下落し、円ベースでは前月比0.6%の下落(前年同月比-4.6%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比-1.9% <原油、液化石油ガスなど>)、繊維品(同-0.2% <ポリエステル紡績糸織物、リネン、綿花など>)等が下落し、円ベースでは前月比1.4%の下落(前年同月比+2.2%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内9月の新規求人数(全数)は、25,871人(前年同月比13.8%増、前月比18.7%増)で、5か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は61,340人(前年同月比15.3%増、前月比9.5%増)で5か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比10.2%増で7か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同13.9%増で5か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同34.7%増で13か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比24.6%増)、製造業(同23.2%増)、情報通信業(同47.7%増)、運輸業、郵便業(同5.7%増)、卸売業、小売業(同15.1%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同5.7%増)、教育、学習支援業(同4.3%増)、医療、福祉(同8.5%増)、サービス業(同13.4%増)は前年を上回ったが、宿泊業、飲食サービス業(同20.0%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同9.0%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

9月の新規求職申込件数(全数)は、26,816件(前年同月比1.7%増、前月比14.9%増)で、4か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求職者数(全数)は112,626人(前年同月比5.1%減、前月比0.2%減)で4か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比0.7%減で6か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.8%増で4か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比17.4%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比6.4%増で7か月連続して、自営・他は同13.6%増で4か月連続して、無業者は同27.1%増で16か月連続して前年を上回ったが、事業主都合離職者は同14.6%減で9か月連続して、自己都合離職者は同0.9%減で4か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、30,668人(前年同月比19.1%減)で、7か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

9月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.88倍で前月を上回り、有効求人倍率についても0.53倍と0.01ポイント改善した。

### (4) 失業者の状況

9月の全国の完全失業率(季節調整値)は5.0%で前月より0.1ポイント低下し、完全失業者数(原数値)は340万人(前年同月差23万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は6.1%(前年同月差0.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は63万人(前年同月差2万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
22年9月	25,871	1,721	4,664	458	1,449	3,713	138	392	758	1,502	872	5,493	2,936
前年同月比	13.8	24.6	23.2	47.7	5.7	15.1	-30.3	-6.4	5.7	-20.2	-9.0	8.5	13.4

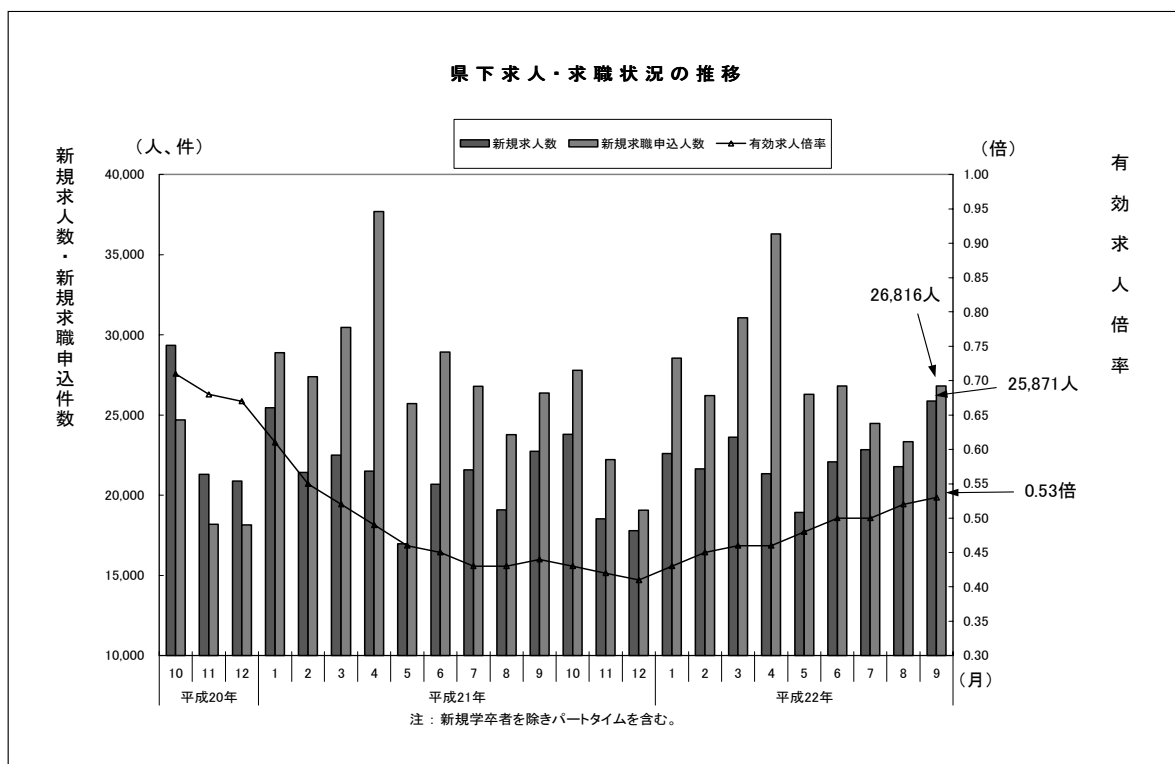
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	09/7-9	09/10-12	10/1-3	10/4-6	10/07	10/08	10/09
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.43	0.42	0.45	0.48	0.50	0.52	0.53
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	15.7	16.0	2.2	5.4	5.9	14.2	13.8
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	10.2	6.0	5.6	13.2	16.1	14.3	13.7
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.5	0.6	0.5	1.1	1.0	1.4	1.3
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	5.4	5.0	0.7	0.7	0.0	0.6	0.5

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部





## 【信用保証】

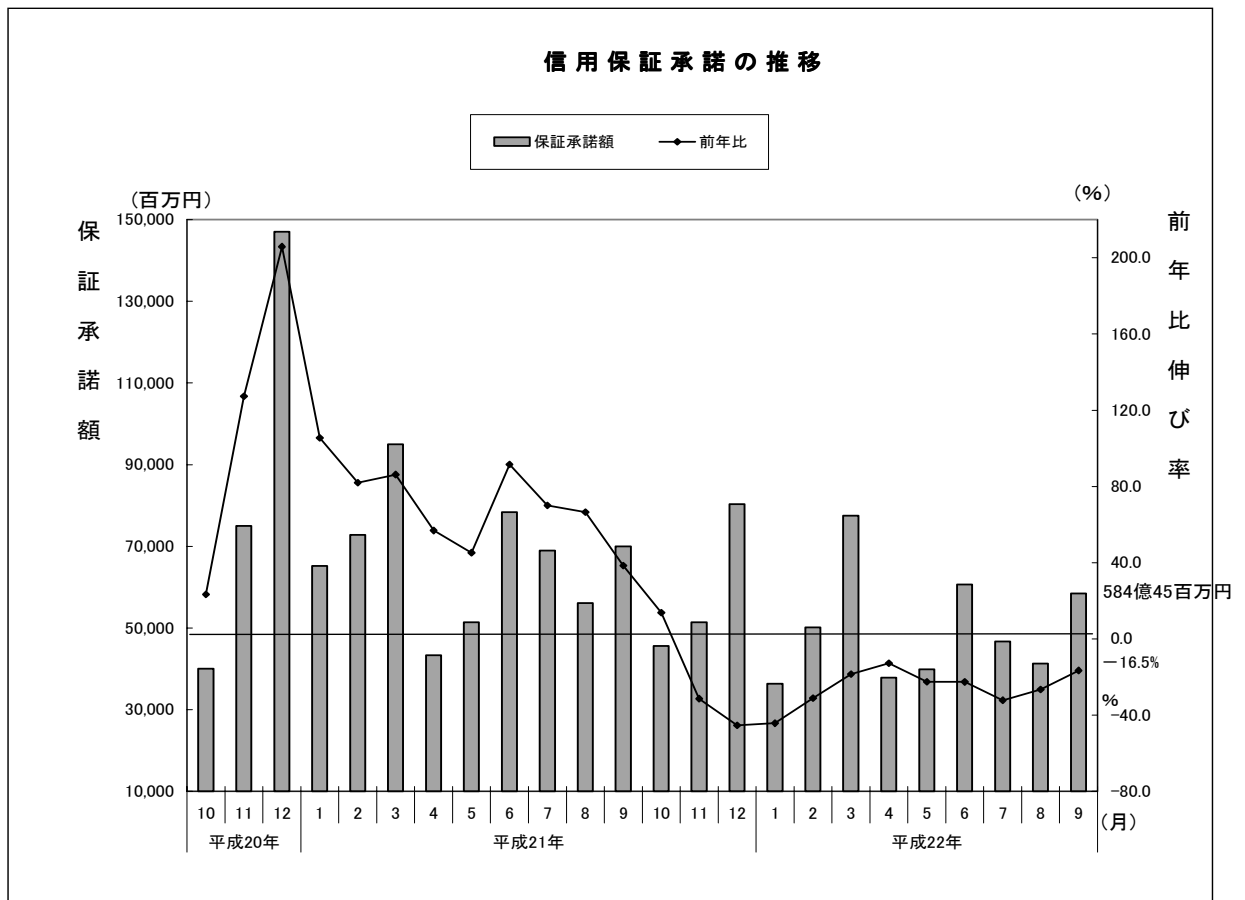
兵庫県信用保証協会による9月の保証承諾実績は、件数で3,087件(前年同月比16.0%減)、金額は584億45百万円(同16.5%減)となり、11か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が高水準で推移していた反動で、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「小売業」7,604百万円(同2.3%減)、「飲食店」1,498百万円(同2.8%減)、「卸売業」11,087百万円(同7.6%減)、「サービス業」7,092百万円(同9.8%減)、「建設業」14,788百万円(同14.0%減)、「運送・倉庫業」2,782百万円(前年同月比27.5%減)、「製造業」11,440百万円(同29.6%減)、「不動産業」2,019百万円(同39.2%減で前年同月を上回り、で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、268件(前年同月比48.0%減)、31億27百万円(同46.1%減)となった。

9月末の保証債務残高は、118,305件(前年同月比3.1%減)、1兆4,653億57百万円(同0.6%増)となった。



## 【金 融】

9月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り(単位:億円、前年同月比増減・%)。

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	136,483	1.9	57,493	1.2
地 方 銀 行	23,030	0.4	19,100	0.5
第 二 地 方 銀 行	29,767	1.6	19,740	3.2
信 用 金 庫	77,247	2.3	38,483	1.9
そ の 他	16,214	3.7	16,737	0.7
計	282,741	1.9	151,553	1.4

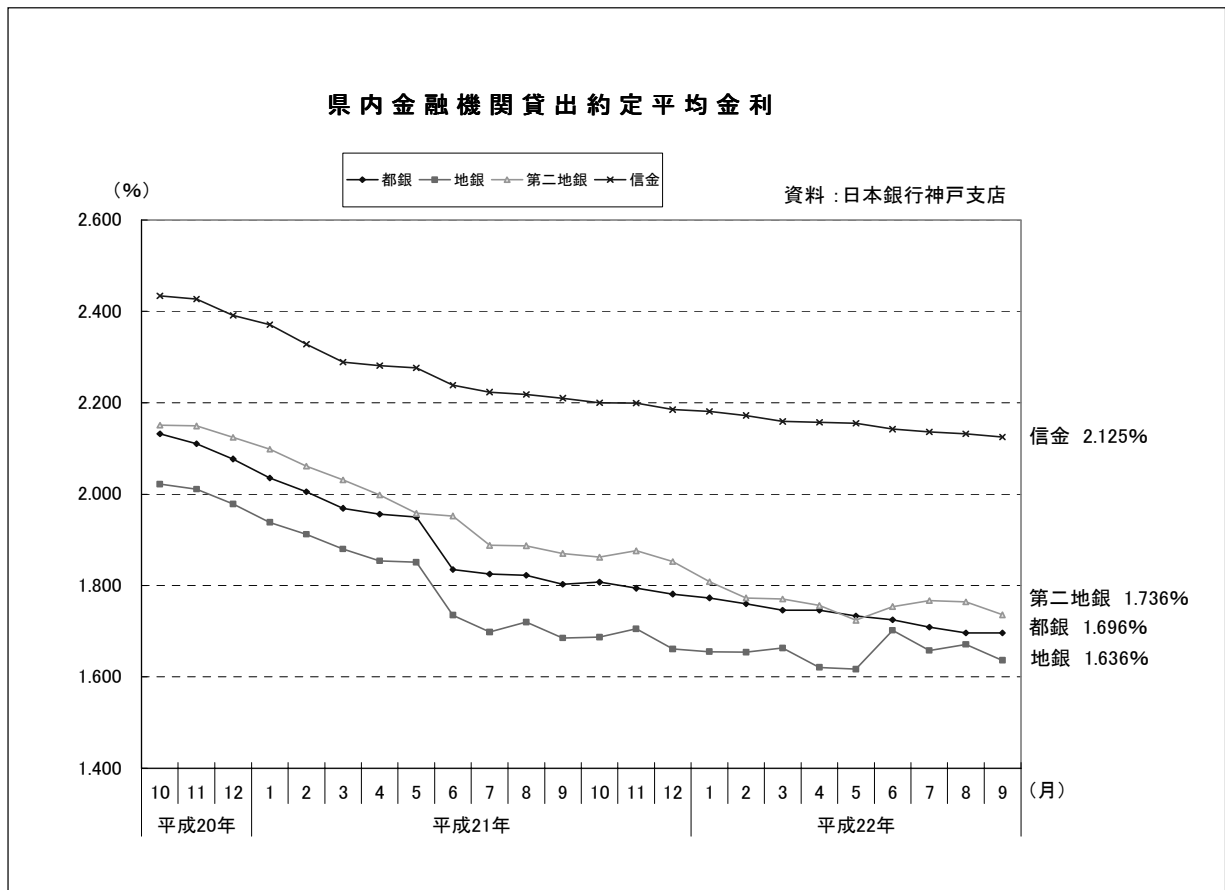
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

9月の預金は、前年を上回って推移している。

9月の貸出は、前年を下回って推移している。

9月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(9月末水準 1.845%、前月比 0.011%ポイント)。



## 【倒 産】

県内 10 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 74 件で前年同月比 21.3%増加、負債総額は 125 億 36 百万円で同 10.5%の減少となった。倒産件数は、前月比 17 件増加、前年同月比でも 13 件の増加となり、前年の月間平均件数 62.6 件より 11.4 件と大幅に増加した。負債額 1 億円未満の小口倒産は 57 件で全体の 77.0%を占めている。

原因別(件数)では、販売不振が 65 件(全体の 87.8%)と前月より 19 件の大幅増加。2 番目は放漫経営 5 件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等「不況型」倒産は 67 件と圧倒的に高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が 20 件(全体の 27.0%)と最も多く、2 番目は不動産・サービス他業が 15 件、次いで食品業 11 件、運輸通信他業 10 件と続いている。

兵庫県下の 10 月の企業倒産件数(負債総額 1 千万円以上)は 74 件で、前月比 17 件の増加となり、3 か月連続の 50 件台から一気に増加した。

日本銀行神戸支店が 11 月 4 日に発表した「管内金融経済概況」によると、「管内の景気は、持ち直しを続けているが、そのペースは幾分鈍化している」と下方修正した前月発表と同判断に据え置いた。

「資本金別」では、「個人企業」の倒産が 38 件と前月比 10 件の大幅増加により全体の 51.35%を占めたことが特筆され、「原因別」では、「不況型倒産」が 67 件で前月比 18 件の大幅増加により、構成比 90.54%と圧倒的な割合を占めた。「産業別」では、「建設業」を筆頭として、「小売業」「サービス・他業」が各 17 件で 2 位となり、これは低迷する内需の厳しさを反映したものと考えられる。上場企業の今期中間決算発表や見通しが相次いでおり、鉄鋼大手や都銀各社は総じて好決算の内容となっはいるものの、その恩恵は経済を足元で支えている中小・零細企業にまでは波及していないのが実情。当月だけを捉えて今後の倒産が高水準で推移するか否かは現状では判断し難いが、「円高」「厳しい雇用・就職環境」「低迷する株価」などマイナス要因が散見される状況において、引き続き中小・零細企業を中心に、経営体力を損耗している中堅企業も含め、年末年始を控えた今後の時期における動向を慎重に見守っていく必要がある。

### 10 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	5	4	1	4	1	金属・機械・電気	7	9	-2	3	4
過小資本	0	2	-2	3	-3	化学・薬品	0	1	-1	2	-2
連鎖倒産	1	0	1	2	-1	ゴム・皮革・ケミカル	2	2	0	3	-1
赤字累積	2	3	-1	7	-5	食品	11	8	3	3	8
販売不振	65	46	19	44	21	建設	20	13	7	28	-8
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	15	13	2	13	2
その他	1	2	-1	1	0	運輸・通信他	19	11	8	9	10
合計	74	57	17	61	13	合計	74	57	17	61	13

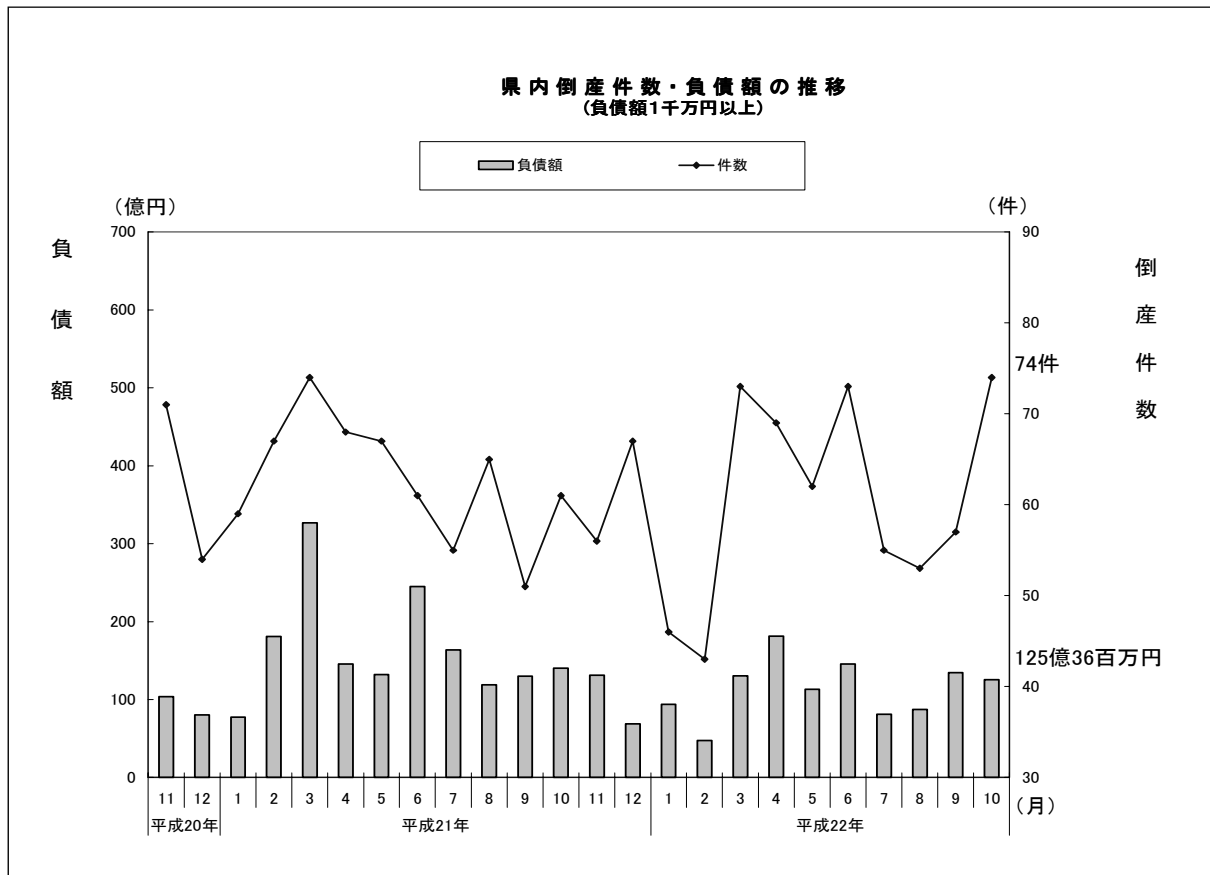
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
17年 平均	54.1	17.5	15.9	8.5	8.8	1.8	0.8	0.8
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 1月	46	11	17	8	6	2	0	2
2月	43	17	12	4	8	0	1	1
3月	73	24	25	11	6	3	0	4
4月	69	21	28	11	8	0	0	1
5月	62	22	18	14	3	2	1	2
6月	73	26	25	14	4	1	1	2
7月	55	12	21	10	8	1	2	1
8月	53	20	14	6	9	1	2	1
9月	57	22	17	6	8	3	0	1
10月	74	28	28	8	6	1	1	2

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比	
		%		(億円)		%		(戸)		%	
21年 1月	83.1	-9.4	76.0	-10.0	166	-10.8	1.9	2,015	-31.4	-18.7	
2月	78.4	-6.2	68.7	-9.4	169	-6.6	-2.8	2,500	-31.7	-24.9	
3月	80.5	2.0	70.6	1.6	352	-9.9	15.3	3,019	-14.5	-20.7	
4月	78.7	0.4	74.3	5.2	343	-12.2	20.5	2,991	-21.0	-32.4	
5月	79.9	1.4	79.2	5.9	130	-18.6	2.5	2,139	-40.3	-30.8	
6月	84.1	5.5	81.0	2.4	301	72.2	12.7	2,582	-38.6	-32.4	
7月	81.9	2.5	82.4	1.9	276	0.0	2.5	2,631	-24.1	-32.1	
8月	84.3	1.9	84.1	1.8	204	0.7	8.7	2,149	-36.8	-38.3	
9月	85.5	3.2	85.1	1.4	318	51.5	22.1	2,502	-19.5	-37.0	
10月	87.0	2.1	86.1	0.5	322	14.2	8.3	2,888	-14.5	-27.1	
11月	89.0	3.3	88.3	2.6	207	-6.7	0.0	2,873	-3.0	-19.1	
12月	90.5	0.9	89.9	2.2	217	-1.0	10.3	3,001	-12.4	-15.7	
22年 1月	95.6	1.7	91.9	2.5	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1	
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3	
3月	90.9	-2.1	94.0	0.3	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4	
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6	
5月	96.8	2.4	95.9	-0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6	
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6	
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3	
8月	r 97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5	
9月	p 95.7	-2.2	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7	
10月					257	-20.3	-18.1				
11月											
12月											
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅宅地課		国土交通省	

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
		%		(億円)		%		(億円)		%	
21年 1月	10,082	-21.3	-20.0	213	-10.1	-9.2	3,009	-30.1	2,256	-11.6	
2月	13,129	-25.3	-24.4	159	-13.3	-11.4	3,269	-36.5	1,491	-32.4	
3月	17,786	-23.5	-24.5	192	-15.7	-12.9	3,689	-35.5	1,923	-22.0	
4月	9,162	-21.8	-22.8	180	-8.9	-11.3	3,432	-33.5	1,918	-26.8	
5月	9,482	-18.6	-17.4	167	-19.6	-12.7	3,326	-34.2	1,689	-37.4	
6月	12,600	-10.3	-12.2	193	-6.9	-8.9	3,597	-33.2	1,834	-29.0	
7月	14,538	0.0	-2.8	212	-12.0	-11.8	3,606	-35.8	1,953	-27.6	
8月	9,906	1.1	3.2	164	-9.8	-8.9	3,509	-31.8	1,793	-31.3	
9月	17,427	10.8	4.2	167	-6.9	-7.8	3,566	-37.6	1,916	-31.7	
10月	13,934	10.6	7.8	178	-8.8	-10.6	3,908	-25.6	1,936	-30.6	
11月	14,618	26.8	24.7	194	-15.9	-11.8	3,483	-16.6	1,909	-18.2	
12月	12,899	29.1	27.3	271	-1.3	-5.1	4,008	-9.1	1,850	-21.8	
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6	
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1	
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5	
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4	
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2	
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7	
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5	
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	r 4,072	16.0	r 2,114	17.9	
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	p 4,433	24.3	p 1,997	4.2	
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2						
11月											
12月											
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関				

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
21年 1月	0.61	0.65	1,003	5.2	99.3	-3.2	100.2	0.2	100.7	0.0
2月	0.55	0.58	1,003	5.6	99.7	-5.2	99.7	0.1	100.4	-0.1
3月	0.52	0.53	996	4.8	98.0	-6.1	100.1	-0.1	100.7	-0.3
4月	0.49	0.48	1,009	4.3	98.3	-5.5	100.6	0.2	100.8	-0.1
5月	0.46	0.46	1,014	4.8	96.8	-4.9	100.4	-0.6	100.6	-1.1
6月	0.46	0.45	1,012	4.8	97.4	-4.9	99.9	-1.3	100.4	-1.8
7月	0.43	0.43	1,008	4.3	97.5	-5.0	99.5	-1.7	100.1	-0.3
8月	0.43	0.42	1,007	4.2	97.1	-4.1	99.7	-1.8	100.4	-2.2
9月	0.44	0.43	1,007	4.2	97.8	-4.1	100.0	-1.8	100.4	-2.2
10月	0.43	0.43	1,003	4.9	96.9	-4.9	99.6	-2.2	100.0	-2.5
11月	0.42	0.43	1,003	5.0	97.7	-3.1	99.1	-2.2	99.8	-1.9
12月	0.41	0.43	1,005	5.0	97.3	-3.9	99.0	-2.0	99.6	-1.7
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.2	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.1	0.1	99.8	-0.6
10月							p 99.9	0.3		
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数 (件)	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
21年 1月	105.5	-0.2	152,735	-1.0	1.824	59	78	18	18	23
2月	105.0	-1.1	152,526	-0.8	1.795	67	181	20	26	21
3月	104.3	-2.2	155,403	-1.8	1.776	74	326	29	16	29
4月	103.6	-3.8	153,829	-0.8	1.756	68	146	28	16	24
5月	103.0	-5.4	154,526	-1.4	1.746	67	132	21	16	30
6月	102.6	-6.6	153,000	-1.5	1.703	61	245	18	13	30
7月	102.9	-8.5	153,523	-1.0	1.697	55	164	13	15	27
8月	103.0	-8.5	152,439	0.1	1.694	65	119	27	21	17
9月	103.0	-7.9	153,641	2.3	1.680	51	130	18	21	12
10月	102.2	-6.8	153,086	2.1	1.680	61	140	22	15	24
11月	102.2	-5.0	152,173	0.8	1.674	56	131	17	21	18
12月	102.2	-3.8	153,743	0.2	1.655	67	69	28	24	15
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.5	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.1	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	r 102.9	-0.1	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	p 103.0	0.9				74	125	28	28	18
11月										
12月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

\* p は速報値 r は確報値